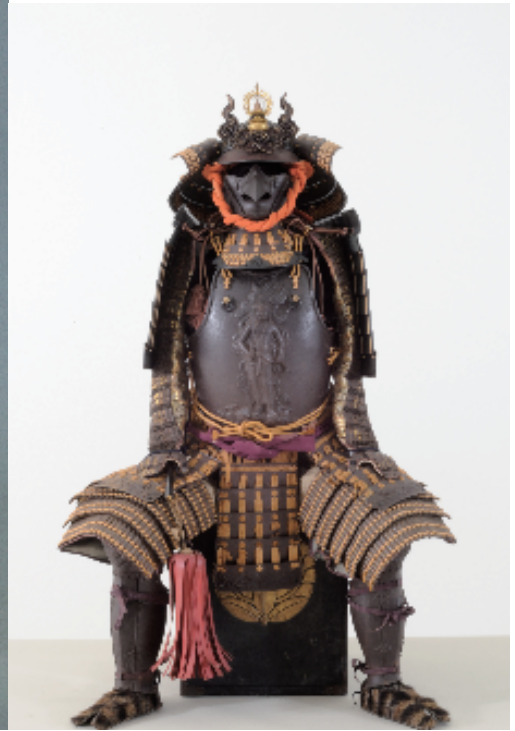


## - 展示中の資料から -



ししひのみことあやしのかぶと  
獅子王尊霊甲  
(慶巖寺所蔵)



みょうちんさく おどしかつちゅう  
明珍作うこん威甲冑  
(慶巖寺所蔵)



## ■ 諫早市美術・歴史館 3月1日開館

- 館長あいさつ
- 開館記念特別企画展開催
- 館蔵この一点
- 催し案内

諫早市初の本格的ミュージアムとして整備を進めていた「諫早市美術・歴史館」が完成し、3月1日、開館記念式典が行われました。式典には、関係者約200人が参加。諫早家第21代当主・諫早道子さんからも祝辞が述べられました。午後からは一般公開が行われ、開館初日には約300人が訪れ、諫早の美術・歴史を堪能しました。



## 開館記念特別企画展

# 「諫早家ゆかりの品々展」 を開催しました

3月1日から4月29日まで、開館記念特別企画展「諫早家ゆかりの品々展」を開催しました。天正15（1587）年の初代龍造寺家晴公から第16代一学公まで約280年にわたりこの諫早の地を治められた諫早家。数百年の時を経て現代まで守り伝えられた諫早家ゆかりの品々に、訪れた約8千人の来場者は思いを馳せていました。アンケートの意見で、特に印象に残ったと多かったものをご紹介します。



漢字とフランス語の辞書なの



### ◆ナポレオン辞書

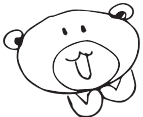
(市図書館所蔵)

これは、ナポレオン辞書と言って日本国内に数冊しかないんだよ。フランス皇帝ナポレオン1世の命で、1813年につくられたんだよ。漢字、フランス語、ラテン語の対訳辞書になっていて、漢字数は13,316字、932ページもあるよ。

### ◆エーセルテレカラフ

(個人所蔵(寄託)、現在展示中)

目覚まし時計みたいだね…



これは、江戸時代の電信機でエーセルテレカラフというんだよ。ベルが付いているのが受信機(奥)、トゲトゲの棒があるのは送信機(手前)だよ。

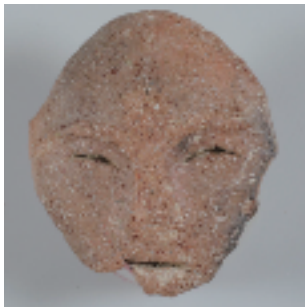


## 館長あいさつ



諫早市美術・歴史館長  
鈴木 勇次

本年4月1日から館長に就任いたしました鈴木です。これまでは長崎ウエスレヤン大学で主に離島振興・地域振興等を指導する傍ら「諫早学」など地域に根差した市民講座なども開設して参りましたが、美術、歴史に関しましてはある面まったくの素人であります。しかし地域の振興課題は人々の歩みの積み重ねの中から生ずると認識しており、美術観にしても、歴史観にしても「人のなせる業」と考えますと、地域へのかかわりは「それ、お門違いでは！」と思えることも納得していただける場合もあるのではないかと考え直しております。こういうのが素人の開き直りでもいうのでしょうか。さて、本美術・歴史館はご高承の通り、平成17年の1市5町合併の際に「芸術・文化作品を市民が身近に鑑賞できる環境づくりと、新市の自然環境・文化・歴史・風土を体系的に理解する場」と謳って建設されることになったと伺っております。その後、幾ばく曲折はあったようですが、平成26年3月1日特別展「諫早家ゆかりの品々展」を旗揚げ企画展としてオープンされました。私はそれから1ヶ月遅れで就任したわけですが、建物の美しさはもとより、学芸員を中心とするスタッフの精力的な働きに感動しました。聞くところによると、これだけの常設展、企画展等を外の力を借りず、自らの力のみで完成させた由。只々頭の下がる思いです。本年は45年ぶりに国体の長崎開催で、その開会式・閉会式が諫早で開催されることになっており、他県からの来訪関係者にも諫早を紹介できる好機となりますので何とかカッコをつけたいと思っております。あまりにも微力ではありますが市民に愛される施設となるよう精一杯頑張る所存ですのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 館蔵この一点

(このコーナーは諫早市美術・歴史館の収蔵資料を紹介します)



### 宣度大先達春峰入絵巻

(せんどだいせんだつはるみねいりえまき)

江戸時代

行列の巻 長さ 1145.0cm 幅 24.2cm

祭礼の巻 長さ 804.0cm 幅 24.2cm

宣度大先達春峰入絵巻は、日本三大修験（しゅげん）の山である英彦山（ひこさん）（福岡県田川郡添田町）での祭礼と春峰入り行列の様子を描いた2巻より構成されています。

「行列の巻」には獅子頭や刀函（かたなばこ）、天狗面（てんぐめん）、槍（やり）、薙刀（なぎなた）、笈（おい）など修験の持ち物のほかに神輿や座主（ざす）の行列などが描かれ、「祭礼の巻」には田起こしや種まき、田植えといった、修験道が民衆の暮らしに深く浸透し、係わった場面が描かれています。

各場面は一つ一つ丁寧に彩色で描かれ、明治に神仏分離令が出される以前の往時の修験の活動を伝えています。



## 催し案内

(諫早市美術・歴史館が行う企画展や、貸室の催しを紹介します)

5月開催予定	
「喜寿記念 松雲書展」	■とき : 5月21日(水)～25日(日) ■ところ : 2階企画展示室1・2・3 ■観覧料 : 無料 ■問い合わせ先 : 立野薫 (Tel 0957-22-5093)
6月開催予定	
「長崎県美術協会 彫刻部第10回記念展」	■とき : 6月1日(日)～8日(日) ■ところ : 1階ホール ■観覧料 : 無料 ■問い合わせ先 : 松尾昌子 (Tel 0957-53-5272)
7月開催予定	
「長崎国体展」	■とき : 7月4日(金)～21日(月) ■ところ : 1階ホール ■観覧料 : 無料 ■問い合わせ先 : 諫早市国体推進課 (Tel 0957-22-1500)

### 諫早市美術・歴史館だより

第1号<年3回発行>

平成26年5月発行

開館時間／10:00～19:00

休館日／毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、12/29～1/3、特別整理期間

観覧料(常設展示室)

高校生・大学生・一般 : 200円(団体(15人以上)160円)

小学生・中学生 : 100円(団体(15人以上)80円)

●市内在住または市内在学の小・中学生は無料。

●教育を目的として、小・中・高・特別支援学校生などが利用する場合は、引率の教員を含め、無料。

〒854-0014 諫早市東小路町2番33号

TEL:0957-24-6611 FAX:0957-24-6633

E-mail:bireki@city.isahaya.nagasaki.jp